

福知山公立大学の将来にわたる安定した運営を求める決議

公立大学法人福知山公立大学（以下、「公立大学」という。）は、北近畿地域唯一の公立大学として、地域活性化、人材育成の拠点としての使命を背負い、平成28年4月に開学する。

福知山市議会としては、公立大学が将来にわたって持続可能な運営を図り、いつまでも市民に愛され続けるとともに、この地域の若い世代の目標や誇りとなる存在となることを切に願うものである。

福知山市は、「教育のまち福知山『学びの拠点』基本構想」をはじめとする各種計画に位置づけられた大学を活用した地方創生の実現を図るとともに、設立団体として、公立大学に対する必要な支援と適切な指導、助言を行う責務がある。

こうしたことを鑑み、福知山市においては、公立大学の運営にあたり、大学自治を尊重しつつ、公立大学と常に危機感と連帯感を共有し、以下の項目について、真摯に取り組まれることを強く求める。

記

1 教学について

- (1) 常に開学理念に基づいたカリキュラムの充実を図り、学生に実りある授業となるよう公立大学を支援すること。
- (2) 教員の研究環境を整備し、その質的向上についても不断の努力を行うよう公立大学に求めること。

2 大学運営について

学生の教育の場であることはもとより、生涯学習の場として市民が積極的に大学と関わる「学びの拠点」となるよう公立大学とともに取り組むこと。

3 学生募集について

- (1) 毎年定員を充足でき得る志願者確保のために、広報活動や高校訪問などに公立大学とともに全力で取り組むこと。
- (2) 公立大学と一致協力して、目標である200人定員の早期実現を図ること。

4 財政運営について

- (1) 学生定員の充足による収入の確保と、積極的な国や民間企業等からの外部資金の獲得を公立大学に求めること。
- (2) 中期計画との乖離が生じた場合は、抜本的な改革を行うよう公立大学に求め、地方交付税の動向を常に注視しつつ、安易な公費投入は厳に慎むこと。

5 情報公開について

市議会ならびに市民に対して、大学の運営状況を、速やかに積極的に情報公開すること。

以上、決議する。

平成28年3月29日

福 知 山 市 議 会